

平成30年7月豪雨災害の現状について(第21報)

1 人的・物的被害の状況(2/18 10:00現在)

(1) 人的被害

区分	人数	備考	
死亡	27名	直接死	25名 天応12名, 吉浦3名, 安浦4名, 中央2名, 阿賀1名, 音戸2名, 蒲刈1名
		関連死	2名
負傷	22名	重傷5名, 軽傷17名	

※ 負傷者数は, 豪雨災害の直接起因による人数(7/6~8)

(2) 家屋の被害状況(2/17 18:00現在)

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	床下浸水	計
314	133	756	1,238	737	3,178

※ り災証明に係る現地調査完了件数による。

(3) 公共施設等の被害状況(H30.12.28現在)

区分	被害施設数・箇所数等	主な被害施設等
① 公共施設(学校, 福祉, 環境衛生, 産業振興施設等)	72施設	天応市民センター, 天応中学校, 安浦中央保育所, 呉市斎場, グリーンピアせとうち
② インフラ	941箇所	
公園	12箇所	二級峡公園, 串山公園
土木施設(道路・河川等)	342箇所	市道内海市原線, 真光寺橋
農林施設(農道・林道等)	251箇所	農道豊浜大橋線, 林道郷原野呂山線
港湾・漁港施設	24箇所	川原石第1物揚場, 仁方川尻新開護岸
上下水道施設	312箇所	二級水源地, 柳迫第一ポンプ所
③ 普通財産	21施設	山林(苗代町, 豊浜町, 川尻町)

2 避難勧告等の発令基準の特例運用

地区・町名		土砂災害	洪水災害
安浦	安浦町大字中畑	○	○
	安浦町中央北1丁目, 安浦町中央1~5丁目, 安浦町内海北1~4丁目, 安浦町内海南1丁目	-	○

3 仮設住宅等の状況(2/18 10:00現在)

住宅の種類	入居世帯数	備考
公営住宅等	38世帯	市営28, 県営9, 民間社宅(中国電力)1
応急仮設住宅	借上げ型	民間借上住宅
	建設型	天応40, 安浦22
合計	242世帯	

※ 応急仮設住宅等における提供期限が近づいている方については, 個々の事情に応じ, 提供期間の更新, 公営住宅の優先入居などの対応を行っています。

#### 4 交通機関及び道路の状況

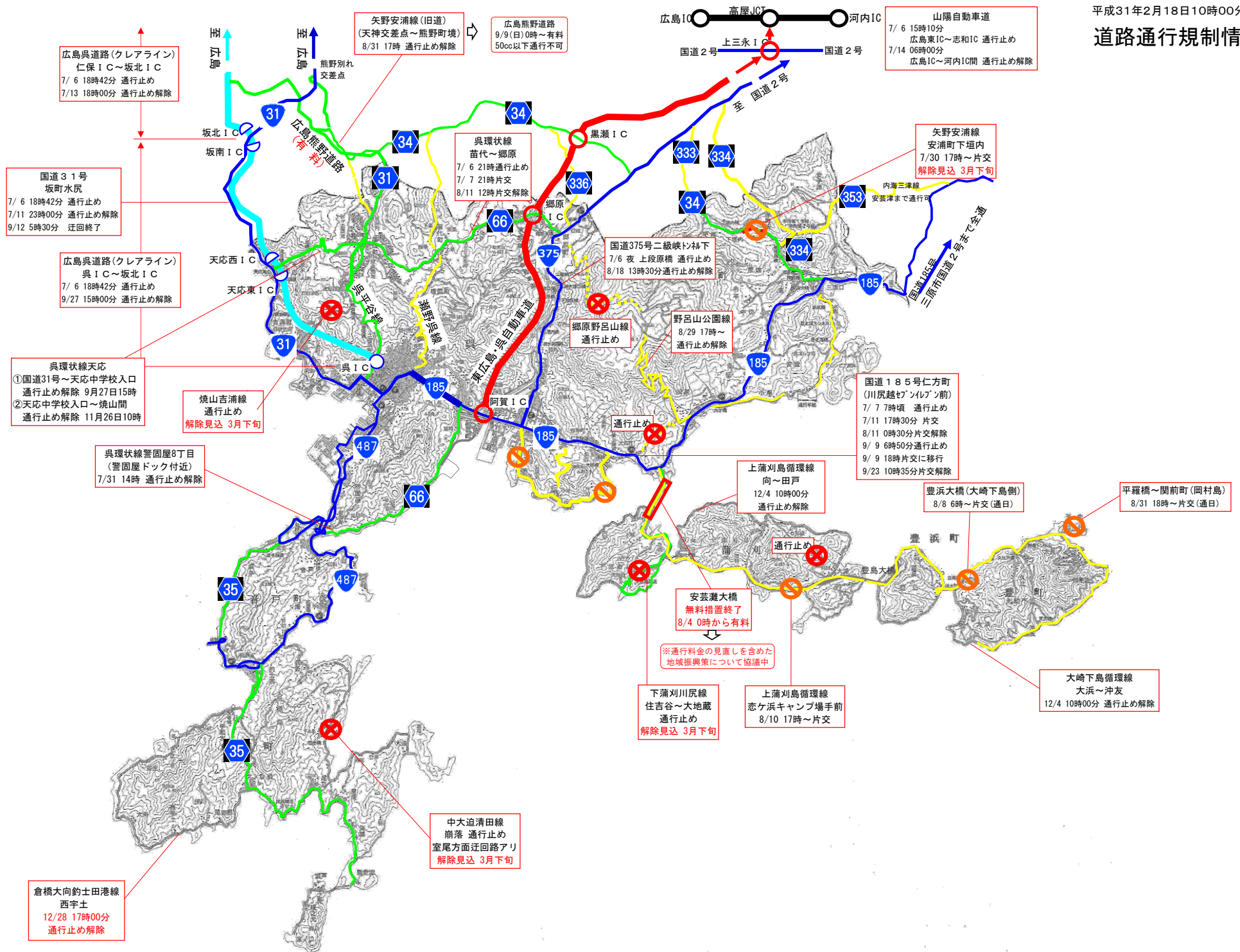
##### (1) 規制中の交通機関 (2/18 10:00現在)

種別	路線名	区間	状況	復旧
鉄路	J R 呉線	かるが浜～天応 小屋浦～水尻	徐行運転	平成31年春のダイヤ改正までに解消できる目途が立ったため、3月15日をもって終了する予定。

##### (2) 規制中の道路 (2/18 10:00現在) 【別紙参照】

※ 2月13日10時時点からの状況の変化なし

# 道路通行規制情報



平成31年2月19日

福祉保健部 子育て支援課  
(子ども支援プロジェクト)

## 被災地等出張型ひろば事業について

被災した地域の子どもと親の心のケアについては、今後も継続した支援が必要です。そのため、発災後から被災地で親子の交流広場を運営してこられたボランティアの方々に、呉市の委託先で働いていただき、出張型ひろばを開設し、引き続き被災地での支援に取り組んでいただくことになりました。

- 1 開催日時  
天応地区 平成31年2月25日(月)から毎週月曜日 10時～15時  
安浦地区 平成31年3月 1日(金)から毎週金曜日 10時～15時
- 2 場 所  
天応地区 呉ポートピアパークこども館2階  
天応まちづくりセンター和室など  
安浦地区 安浦会館和室
- 3 対 象 0, 1, 2歳の子どもとその保護者など
- 4 内 容 読み聞かせや手遊び, 子育てに関する相談,  
親子の交流の場の提供
- 5 実施主体 呉市 (委託先) 呉市すこやか子育て協会

平成31年2月19日

企画部企画課・都市部交通政策課  
(交通対策プロジェクト)

## 「通勤交通強靱化に向けた取組み」社会実験の実施について

「広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会（以下「検討会」という。）」で議論を行っている平時からの交通マネジメントの取組として、次のとおり「通勤交通強靱化に向けた取組み」社会実験を実施します。

### 1 社会実験の概要

- (1) 目的 国道31号の渋滞緩和への効果を検証するとともに、過度に自動車へ依存する生活から脱却する平時からの交通マネジメントの意識付けを行っていきます。
- (2) 実施期間 平成31年2月26日（火）～28日（木）の3日間
- (3) 対象者 呉市内の事業所に勤める方
- (4) 取組内容 公共交通機関や自転車での出勤，相乗り出勤，時差出勤など

※ 国道31号（広島から呉方向）の交通渋滞に与える影響を検証するため、主に広島方面から呉方面へのマイカー通勤者を対象とします。

### 2 企業に対する協力要請

- 検討会が実施した企業アンケート調査において、協力意向のあった12事業所に対して、整備局・呉市（一部神田先生）が訪問し、実験への協力を要請し、協力していただくこととなりました。
- なお、呉工業高等専門学校，広島県，呉市においても可能な職員は実験に参加してもらうよう依頼します。



国土を **整**え、全力で **備**える  
国土交通省  
中国地方整備局  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Chugoku Regional Development Bureau



お知らせ

記者発表資料 | 平成31年2月19日

<資料提供先>

合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

## 広島⇒呉間の通勤をもっとスムーズに!! 『通勤交通強靱化に向けた取り組み』 社会実験を実施します。

平成30年7月豪雨時の広島・呉間の国道31号を中心とした大渋滞の経験を踏まえ、交通マネジメントのあり方等について、「広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会」を設立し議論を進めています。

その活動の一環として、呉市内の事業所へ勤務されている皆様方と協働し、通勤時の交通手段について地域の交通状態をより良いものにするための社会実験を実施します。

1. **実施期間** 平成31年2月26日(火)～28日(木) (3日間)
2. **対象者** 呉市内の事業所に勤める方
3. **実施概要** 公共交通機関や自転車での出勤、相乗り出勤、時差出勤などにより、呉エリアの交通渋滞に与える影響を検証する社会実験を実施します。  
詳しくは別添チラシをご覧ください。

### 企業の皆様 ご協力お願いします！

○問い合わせ先

●国土交通省 中国地方整備局

(担 当) 道路部 道路計画課長 吉田 真人 (内線4211)

TEL 082-221-9231 (代表)

TEL 082-511-6301 (夜間)

●呉市 (担 当) 都市部 交通政策課長 橋村 隆彦

TEL 0823-25-3238 (直通)

○広報担当窓口

国土交通省 中国地方整備局 広報公聴対策官 岩下 恭久 (内線2117)

企画部 環境調整官 井上 和久 (内線3114)

# 広島⇒呉間の通勤をもっとスム〜ズに!!

企業の皆様  
ご協力お願いします!

「通勤交通強靱化に向けた取組み」社会実験を実施します

実験  
期間

平成31年2月26日(火) ~ 28日(木)

マイカーの通勤方法の工夫、  
マイカー以外での通勤に  
ご協力をお願いします。

## 社会実験の内容

平成30年7月豪雨時に国道31号や185号等で発生した大渋滞を再び繰り返さないためにも、過度に自動車へ依存しない通勤交通を平常時から考えておくことが重要です。

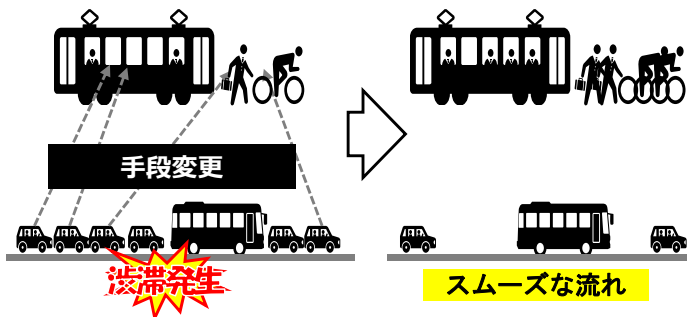
その一環として呉エリアでマイカー通勤される方にご協力いただき、公共交通機関や自転車での出勤、相乗り出勤、時差出勤などにより、呉エリアの交通渋滞に与える影響を検証する社会実験を実施します。

## 通勤方法の工夫の一例

### 公共交通機関・自転車出勤

#### 電車・バス・自転車等の利用を

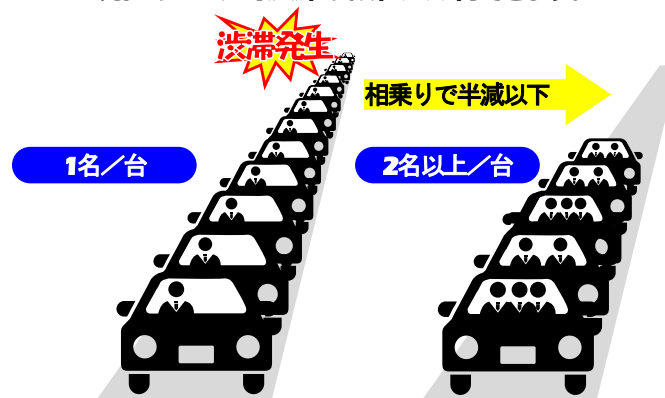
- ⇒ピーク時の交通量の減少が狙えます。
- ⇒現在のピーク時渋滞の緩和が期待できます。



### 相乗り出勤

#### 1台の車に複数人の乗車を

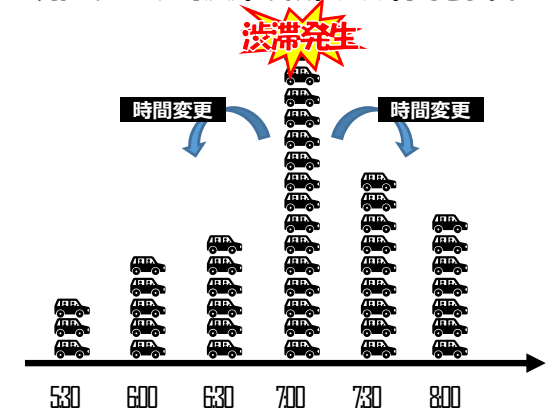
- ⇒ピーク時の交通量の減少が狙えます。
- ⇒現在のピーク時渋滞の緩和が期待できます。



### 時差出勤

#### 始業時刻を15~30分早く・遅く

- ⇒交通量ピークの分散が狙えます。
- ⇒現在のピーク時渋滞の緩和が期待できます。



## 広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会

広島大学大学院、呉工業高等専門学校、中国経済連合会、広島商工会議所、呉商工会議所、広島県旅客船協会、広島県バス協会、西日本旅客鉄道(株)、広島電鉄(株)、経済産業省、国土交通省、広島県、広島市、呉市、東広島市、西日本高速道路(株)、広島県道路公社、広島高速道路公社

平成31年2月19日

産業部 農林水産課  
(産業支援プロジェクト)

## カキ抑制柵周辺の土砂撤去工事について

黒瀬川河口等のカキ抑制柵周辺に堆積した土砂の撤去工事が、2月19日から始まりました。

### 1 概要

平成30年7月豪雨により、黒瀬川等の河口に設置されているカキ抑制柵に、上流から流れてきた流木・ゴミ及び土砂が堆積する被害を受けました(被害柵数338柵 被害額5,550万円)。

このため、呉市では広島県、水産庁及びカキ生産者等と調整を行い、阿賀・広・倉橋西部・安浦の4漁協が、生活・生業再建支援パッケージの「水産多面的機能発揮対策事業」の交付金を受け、漁業者自らが活動組織を作り、9月から12月まで流木・ゴミの撤去活動をそれぞれの地域で行い、完了しました。

次のステップとして、活動組織が土砂撤去工事を業者へ委託し、黒瀬川河口では2月19日から、大白明川河口では3月6日頃から実施することになりました。

### 2 工事概要

場所	活動組織	工事期間	土砂撤去量	工事金額	備考
黒瀬川	阿賀漁協	2月19日(火)~2月21日(木)	420 m <sup>3</sup>	20,952 千円	カキの稚貝を筏へ移し終える6月も実施
	広漁協	2月21日(木)~3月8日(金)	980 m <sup>3</sup>		
大白明川	倉橋西部漁協	3月6日(水)頃~(調整中)	760 m <sup>3</sup>	15,552 千円	
野呂川	安浦漁協	土砂撤去については漁港管理者(県)が6月に実施予定			